

2号炉 放射化汚染, 二次的な汚染の工程について

令和3年1月27日
中国電力株式会社

項目		1月		2月		3月	
		前半	後半	前半	後半	前半	後半
放射化汚染	サンプリングの実施 場所: 1号炉タービン建物3階 採取: ポリ瓶1本	準備※1		2号炉からのサンプリング			
	分析方法検討	手順書案作成		検出限界値検討※2			
	分析の実施			予備サンプル試験※3		2号炉の分析※4	
二次的な汚染	サンプリングの実施 場所: 1号炉タービン建物3階 採取: ポリ瓶1本	準備※1		2号炉からのサンプリング※5			
	分析の実施					2号炉の分析※6	
基本ロジック(エビデンス)						提出▽	
不確かさ等	GMサーベイメータの不確かさ 測定単位, 評価単位	JISの不確かさ調査				記載案の検討	
		測定, 評価単位の現場調査等					

- ※1: 資機材(切断装置等), 消耗品(ポリ瓶, 養生シート等)の準備, 発電所内のQMS手順書に基づく承認手続き(安全対策関係の作業承認等)
- ※2: 予備サンプルを用いてCo-60の検出限界値E-04Bq/gオーダーを達成することを分析手順書案にそって試験する。
- ※3: 酸により予備サンプルを溶解~Ge半導体検出器測定を行う。3回の試験を想定する。溶解(3日程度), Ge測定(2日程度)
- ※4: 検討した手順書により分析を実施する。溶解(3日程度), Ge測定(2日程度)
- ※5: サンプリング後にプラスト除染装置により除染を実施する。サンプリング(5日程度), 除染装置のメンテナンス(5日程度), 除染(5日程度)
- ※6: 放射化学分析室で使用可能なフードが1台しかないため, 放射化汚染と二次的な汚染を交互に行う。